

## 平成 24 年度第 2 回東浦町子ども読書活動推進会議議事録

日 時：平成 25 年 3 月 21 日（木） 13：30～14：35

場 所：東浦町中央図書館小会議室

出席者：浅野京子（委員長）、奥田英子（副委員長）、川瀬陽子（朗読講師）

服部理恵（緒川小学校教諭）、深谷ひとみ（石浜児童館長）、尾崎美穂子（母の会代表）

千東正子（ボランティア代表）、松下玲子（元 P T A 代表）

事務局：稲葉教育長、大崎教育部長、成田図書館長

水野館長補佐、杉浦図書館指導員

傍聴者：なし

### 開会

#### 1 あいさつ

##### (1) 委員長

- ・先日行った東浦町の学校図書主任会で、各校に週 5 時間図書館サポーターを入れた成果が上がっているという話題が出た。アイデアをこらした環境づくりや図書委員会の子どもたちへの助言など熱心に取り組んでいる。今後も中央図書館との連携を強め、本好きな子どもたちを育てていきたい。

##### (2) 教育長あいさつ

- ・報告書を読むと、学校・保育園の協力を得て、この子ども読書活動推進に取り組んできたことがよく分かる。今後も無理のない活動で、実のある成果を出していきたい。
- ・学校週 5 日制が試験的に始まったときに、子どもへのアンケートをしたところ、中学 3 年生は、「土曜日をじっくり読書で過ごした」とか「苦手な教科の復習をした」という回答をした生徒がいた。自分の時間を有効に使うことができる子どもに育てたい。
- ・焼津の小学校を視察したとき、公民館と学校が一体化していた。図書館には市職員が一人常駐していた。専属の人が図書館にいと、子どもたちもよく利用するのではと感じた。

#### 2 議事

##### (1) 平成 24 年度実績報告について

- ・事務局が、実績報告書を基に説明する。

##### 〔質疑・意見交換〕

委 員；実績報告の中の東浦中のスクールサポーターは、何をするのか。

委員長；登録制で学校ボランティアを募り、学校の要望にしたがって、その人の得意なジャンルで活躍してもらおうしくみ。町にある登録制のボランティアとよく似ていると思う。

教育長；東浦中は、最初お父さんたちに入ってもらいたいという願いで始まった。ボランティア登録してもらって、やれることをやってもらう。図書サポーターというと図書館に特化してしまうので、スクールサポーターとした。

委 員；スクールサポーターに読み聞かせなどしてもらおうときには、中学校では、どんな内容で、どんな本を選んでいるのか。

委員長；西部中では、P T A の希望者が読み聞かせをしてくれるが、子どもにこんな本を読み聞かせたいという自分の思いを込めて、自分の好きな本を選んでもらっている。ある人は、サッカーの本を選んだり、またある人は中学生でも絵本を読み聞かせようと絵本を選んでいる。本の選択には、随分時間をかけているようだ。

教育長；学校でも順番に読み聞かせをしていた。どの本を読むか決めるために本屋へ通ったものだ。

委 員；北部中は、予定がないと報告しているが、北部中でも実施してほしい。

委 員；ブックトーク同様、資料を共有したい。その資料が中央図書館に保管してあると、使いやすい。

教育長；一人の先生が一つ資料を作成すれば、10通りの資料ができる。それを中央図書館で保管して、みんなで共有していけばよい。

委員；この実績報告から先生たちの努力が拝見できる。学校の図書委員の仕事が増えたと思う。図書館サポーターのアドバイスなどにより学校の図書館が変わってきた。図書委員が自分たちがやったんだと誇らしげにしていた。読み聞かせに行ったとき、ペア学年の子が読んでくれたと言っていた。親が読むのと子どもが読むのでは違う感想をもっていた。子どもたちの様子から親も励まされた。図書館が魅力的な空間になってきた。

教育長；図書館だけでなく、学校全体の環境づくりに、先生だけでなく子どもにも参加させたい。

委員；東浦中の読書タイムの項目で、本を準備できない生徒に図書館担当が教室へ出かけて出張貸し出しをしているという報告がうれしかった。

委員；児童館では、毎日5時から職員が読み聞かせをしている。子どもたちの将来へつなげたい。

教育長；他地区の中学校で、市の費用で子どもたちに1冊の本を購入している取組がある。自分の読みたい本を学校が買ってくれたということで、必ず1年に1冊は本を読む。そこから1冊にとどまらず他の本にも目を向けるようになる。

## (2) その他

- ・東浦町子ども読書活動推進計画の改訂について事務局が連絡した。

事務局；東浦町子ども読書活動推進計画は、25年度で5年目となり、1次計画が終わる。

そこで、25年度、1年かけて1次計画を改訂し、26年度に向けて、第2次計画を策定していく。25年度は、この会を通常年2回のところ年4回開催し、その4回の会の中で改訂作業をしていくので了承いただきたい。また、この会は、2年任期で本年度が2年目となる。25年度は、1名の公募委員を入れることとなる。